

趣 旨

一瞬にして人命を奪い、人々の平和な暮らしを脅かす交通事故をなくすことは、県民の切なる願いです。しかし、多くの人々の懸命な取組にもかかわらず、なお依然として多数の交通事故が発生しています。

交通事故をなくすためには、私たち一人一人が、人命の尊重を最優先にして、交通安全の確保に向けた取組を一層進めることが必要で、交通社会の主体である県民及び事業者の積極的な取組なくして真の交通安全は実現しません。

愛知県交通安全条例（平成26年愛知県条例第55号、以下「条例」という。）にも謳われているとおり、県、県警察、市町村、関係行政機関、交通安全推進団体並びに県民が相互に連携を図りつつ、一体となって交通安全県民運動を推進し、交通事故のない社会の実現を目指します。

スローガン



◆スロップ・ザ 交通事故 ～高めようモラル 守ろうルール～

〈サブスローガン〉

◆広めよう 交通安全スリー^{エス}S運動



運動重点

- ◆子供と高齢者の交通事故防止
- ◆歩行者・自転車の交通事故防止
- ◆交差点事故の防止
- ◆飲酒運転の根絶
- ◆全ての座席でシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底

広報重点

- ◆ ちょっとした スマホ操作で 大事故に
- ◆ 安全は 急ぐことより 待つ気持ち
- ◆ 自転車は 免許は無くても 車だよ！

取 組 内 容

家 庭

- 1 日常の生活の中で、安全な道路の通行方法、安全な自転車の乗り方、交通ルールやマナーの大切さについて十分に話し合い、交通安全意識を高めます。
- 2 ドライバーから目立つよう手を挙げて横断する「ハンド・アップ運動」を実践します。
- 3 夜間の外出には、明るい目立つ色の衣服や反射材用品を着用します。
- 4 幼児・児童の自転車乗用時のヘルメット着用を徹底します。
- 5 後部座席を含めた全ての座席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用します。
- 6 「飲酒運転四（し）ない運動」と飲酒せずに運転する人を決めておく「ハンドルキーパー運動」を実践します。

地 域

- 1 通学路等の幼児・児童の安全な通行や生活道路等における歩行者・自転車の安全な通行を確保する取組を推進します。
- 2 通学路の見守りなどの自主的なボランティア活動を推進します。
- 3 反射材用品の普及やシートベルト着用キャンペーンを展開します。
- 4 「飲酒運転四（し）ない運動」を推進し、飲酒運転根絶の気運を高めます。

職 場 ・ 学 校 等

- 1 交通ルールやマナーの大切さを学びます。
- 2 従業員に対して交通安全教育を実施します。
- 3 歩行中の安全な通行方法や自転車の安全利用方法について、参加・体験・実践型の交通安全教室を開催します。
- 4 交通指導員や交通ボランティアと緊密に連携し情報交換をします。
- 5 P T Aや関係機関と連携して、通学路の点検を定期的実施します。

運 転 者

- 1 子供と高齢者の行動特性を理解させ、安全運転を徹底します。
- 2 ライト・オン運動（夕暮れ時の前照灯早め点灯運動）とともに、対向車や先行車がない場合は、ハイビームの活用を推進します。
- 3 全ての座席でシートベルトの正しい着用を徹底します。
- 4 飲酒運転根絶のための指導を徹底します。